

## 共 同 研 究 室

昭和59年度第5回研究会 (9月21日)

▶ テーマ 社会主義における経済と政治

——「経済的メカニズム」論と「政治的システム」論をてがかりに——

報告者 芦田文夫氏

昭和59年度第6回研究会 (10月5日)

▶ テーマ 貨幣・信用恐慌と中央銀行準備金

報告者 竹味能成氏

(報告内容は本誌第5号研究の項に掲載予定)

▶ テーマ 恐慌論の方法と原理論の方法の関連について

報告者 西原誠司氏

昭和59年度第7回研究会 (10月19日)

▶ テーマ ケインズ経済学の理論的發展

報告者 松川周二氏

**報告要旨**

ケインズ経済学の理論的發展

- § 1 はじめに
- § 2 ポスト・マーシャル時代の経済学の状況
- § 3 『貨幣改革論』と貨幣残高数量説
- § 4 初期『貨幣論』＝ロバートソン型モデル
- § 5 中期『貨幣論』モデル
- § 6 『貨幣論』の基本的性格
- § 7 『貨幣論』の発展としての『一般理論』
- § 8 おわりに